

付 表 (案)

凡 例

- 1 この付表は、「本表」のつづりと「本表」に掲げていないつづりとの関係を示すために、参考として掲げるものである。
- 2 この付表では、「本表」に示すつづりと、昭和29年内閣告示第1号の第1表又は第2表の6行目以降に示されていたつづりのうち「本表」に示すつづりと異なっている部分とを並べ、対照させている。
- 3 昭和29年内閣告示第2表の6行目以降に記載のないものは「-」で示した。
- 4 この付表の中欄及び右欄のつづりは、国語の五十音を規則的に示すものであり、情報機器で国語を入力する場合の参考ともされている。また、右欄のつづりは、仮名「ぢ」「づ」「を」等に対応しており、個人名や団体名などの固有名詞に用いられる場合がある。

「本表」のつづり	昭和29年内閣告示 第1表	昭和29年内閣告示 第2表
シ shi	si	-
チ chi	ti	-
ツ tsu	tu	-
フ fu	hu	-
(ヲ) o	「本表」に同じ	wo
ジ ji	zi	-
(ヂ) ji	zi	di
(ヅ) zu	「本表」に同じ	du
シャ sha	sya	-
シュ shu	syu	-
ショ sho	syo	-
チャ cha	tya	-
チュ chu	tyu	-
チョ cho	tyo	-
ジャ ja	zya	-
(ヂャ) ja	zya	dya

ジュ ju	zyu	-
(ヂュ) ju	zyu	dyu
ジョ jo	zyo	-
(ヂョ) jo	zyo	dyo

* 昭和29年内閣告示第2表には「kwa」「gwa」も示されていた。「本表」のつづりに
おいて、「kwa」は「ka」に、「gwa」は「ga」に対応する。

* () を付したのは、「本表」において、「別の仮名に対応する音と同じ発音をする
ため、ローマ字においては使い分けをしない」として示されたものである。